



2021年度春季海外研修 BEVI-j分析結果

Discover your potential

SOKA University



■ 測定する「17の尺度」および「7領域」

i. 妥当性 (Validity Scales)

- Consistency (一貫性): 類似又は同一の内容を測っているが表現の異なる質問項目に対する、回答の一貫性
- Congruency (適合性): 統計的に推定できる回答パターンとの、回答の一致の程度

【高】・【低】と表示した尺度はフルスケールスコア (BEVIが測定しようとする「中心的な本質」の全体スコア)算出の際の重み付けに利用
BEVI自体はスコアの高低について価値判断をしない(例えば宗教)。ただし、大学また教員は価値判断を行う (EX: 14のスコアが高い人はジェンダーの考えが保守的)

ii. 形成的因子 (Formative Variables)

1. Negative Life Events (人生における負の出来事): 困難な子ども時代、問題を抱えていた両親、人生における葛藤/苦悶、多くの後悔

iii. 中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)

2. Needs Closure (欲求の抑圧): 不幸な生い立ち/生活史、いさかひの多い不安定な家族構造、物事が起こる原因・状態の原因についてのステレオタイプの思考/筋が通らない説明
3. Needs Fulfillment (欲求の達成) 【高】: 経験・欲求・感情に対してオープン、自分・他者・より広い世界に対する気遣い/思いやり
4. Identity Diffusion (アイデンティティへの否定的な度合い): アイデンティティの危機、結婚生活/家族生活についての否定的宿命論、自分や将来に対する「否定的な」感情

iv. 不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)

5. Basic Openness (基本的な開放性) 【高】: 基本的な思考、感情、欲求に対してオープンかつ率直
6. Self Certitude (自分に対する確信) 【低】: 強い意志、困難に対し言い訳することが我慢できない、ポジティブ思考を強調する、深い分析を好まない

v. 批判的思考 (Critical Thinking)

7. Basic Determinism (決定論・必然論的傾向) 【低】: 差異/行動について簡潔な説明を好む、人は変わらない/強者が生き残ると信じている、苦勞の多い生活史
8. Socioemotional Convergence (社会・情動の理解): 自己、他者、より広い世界を認識している/オープンである、思慮深く、実用主義、意思が固い、自立の必要性を認める一方で弱者を気遣うなど世界を白黒では捉えない

vi. 自己の理解・アクセス (Self Access)

9. Physical Resonance (身体への共鳴): 身体的欲求/感情の受容、経験主義、人間性/進化の影響を評価する (例: 「私は自由な精神の持ち主だ」、「私の体は私の感情に敏感だ」など)
10. Emotional Attunement (感情の調整) 【高】: 感情に動かされやすい、傷つきやすい、社会的、愛情を求めている、親和的、愛情表現に価値を置く、家族関係が親密
11. Self Awareness (自己認識) 【高】: 内省的、自己の複雑性を受け入れる、人の経験/状態を気遣う、難しい思考/感情を許容する
12. Meaning Quest (意味の探求): 物事の意味を模索する、人生にバランスを求める、耐性がある/根気が強い、感受性が高い、弱者への思いやり

vii. 他者の理解・アクセス (Other Access)

13. Religious Traditionalism (宗教的伝統主義、信仰心) 【低】: 宗教心があつい、自己/行動/出来事を神/霊的な力によるものとする、「来世」を信じる
14. Gender traditionalism (ジェンダー的伝統主義) 【低】: 男性と女性はある型にはまるよう創られている、伝統的/単純なジェンダー観やジェンダーの役割を好む
15. Sociocultural Openness (社会文化的オープン性) 【高】: 文化、経済、教育、環境、ジェンダー/国際関係、政治の分野におけるさまざまな行動、政策及び実践について進歩的/オープンである

viii. 世界の理解 (Global Access)

16. Ecological Resonance (生態との共鳴) 【高】: 環境/持続可能性の問題に深く関与している。地球/自然界の将来を懸念している
17. Global Resonance (世界との共鳴) 【高】: さまざまな個人、集団、言語、文化について学ぶこと/出会うことを努力している。グローバル社会への関与を望んでいる

グループ平均 (まとめ)

- 色付けされている尺度が、フルスケールスコアと呼ばれるものであり、BEVIが測定しようとしている、基本的な開放性、異文化への許容性、宗教的また社会的実践、ステレオタイプな思考の許容 (またはその否定)、「自己」と感情認識、また他の人々や文化がなぜそのように行動するのかを説明しようとする思考パターンなどの「中心的な本質」の全体スコアをあらわします。

- 緑色に変化がなかった尺度、赤色がフルスケールスコアを減少させた尺度、青色がフルスケールスコアを増加させた尺度を表します。

- フルスケールスコア以外の尺度については、すべて一律で黒色になっています。

グループ平均（まとめ） 1-1

研修名	②形成的因子 (Formative Variables)	③中核的欲求の満足度 (Fulfillment of Core Needs)	④不均衡の許容 (Tolerance of Disequilibrium)	⑤批判的思考 (Critical Thinking)
経済学部 ハワイ大学 オンライン研修	自身の生い立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情をオープンにするようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが増加した。(尺度5) ・物事を決めつける思考の度合いに変化はなかった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)
看護学部 国際看護研修 (アメリカ) オンライン	自身の生い立ちが困難であったとの認識が弱くなった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧しなくなった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情に変化はなかった。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが減少した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)
国際部 南イリノイ大学 オンライン研修	自身の生い立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対する感情をオープンにするようになった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が減少した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが増加した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考の度合いに変化はなかった。(尺度7) ・より広い世界への認識が強くなり、弱者を気遣うなどの配慮ができるようになった。(尺度8)
国際部 慶熙大学研修 オンライン研修	自身の生い立ちへの認識に変化はなかった。(尺度1)	・家庭環境や生活への欲求を抑圧する度合いに変化はなかった。(尺度2) ・経験・欲求・感情に対するオープンさに変化がなかった。(尺度3) ・将来への否定的な感情が増加した。(尺度4)	・基本的な思考、感情、欲求をオープンさが増加した。(尺度5) ・物事を決めつける思考が強くなった。(尺度6)	・ひとは変わらないなどの決定論的思考が強くなった。(尺度7) ・より広い世界への認識に変化はなく、弱者を気遣うなどの配慮の度合いに変化はなかった。(尺度8)

グループ平均（まとめ） 1-2

研修名	⑥自己の理解・アクセス (Self Access)	⑦他者の理解・アクセス (Other Access)	⑧世界の理解 (Global Access)
経済学部 ハワイ大学 オンライン研修	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置くようになった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容できるようになった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が強くなった。(尺度13) ・ジェンダー的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
看護学部 国際看護研修 (アメリカ) オンライン	・身体的欲求の受入には変化がなかった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置くようになった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容できるようになった。(尺度11) ・意味を模索する度合いに変化はなかった。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・自己の複雑性を許容し難くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
国際部 南イリノイ大学 オンライン研修	・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置くようになった。(尺度10) ・自己の複雑性を許容できるようになった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが増加した。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考が強くなった。(尺度13) ・自己の複雑性を許容し難くなった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが増加した。(尺度15)	・環境問題への共感が強くなり、自然界の将来への懸念が増加した。(尺度16) ・グローバル社会への関心が増加した。(尺度17)
国際部 慶熙大学研修 オンライン研修	・身体的欲求を受入するようになった。(尺度9) ・愛情表現に価値を置く度合いは変化がなかった。(尺度10) ・自己の複雑性の許容には変化がなかった。(尺度11) ・意味を模索する度合いが減少した。(尺度12)	・宗教的伝統主義の思考には変化がなかった。(尺度13) ・自己の複雑性を許容できるようになった。(尺度14) ・社会、文化へのオープンさが減少した。(尺度15)	・環境問題への共感、自然界の将来への懸念に変化はなかった。(尺度16) ・グローバル社会への関心が減少した。(尺度17)

【経済学部 ハワイ大学オンライン研修】 のBEVI-jによる分析

期間： 事前学習 2022年2月10～11日
ハワイ大学によるプログラム 2月14日～17日

参加者： 21名

研修目的：
テーマ「 Sustainable Development Goals and Hawaii」

研修内容：
経済学部とハワイ大学College of Social Scienceの学術協定に基づき、創価大学とハワイ大学のキャンパスをオンラインで結び実施。事前研修を含む全ての日程に参加し規定の課題を提出した学生にはForeign Studiesの単位(2単位)を認定。

経済学部 ハワイ大学オンライン研修 Aggregate Profile (N=21)



考察（ハワイ大学オンライン研修）

- 全体的にフルスケールスコアを上昇させる変化が多く見られ、効果のあった研修と推測する。
- 国際的視野や国際性を身につけるといふ点に関連する尺度（尺度15～17）は全体平均のみならず、男女別、またフルスケールスコア別で見ただけにも数値が高くなり、ほとんどの学生に期待する変化が見受けられ、効果があったと推測する。
- 尺度16「生態との共鳴（Ecological Resonance）」に特に大きな変化が見受けられた。記述回答でもハワイの自然に対する考え方や環境問題への関心が高まったとの声が多く見られた。
- 事前研修を含め6日間という短期間の研修であるにも関わらず、多くの尺度で好ましい変化が見受けられ、学生に大きなインパクトを与えた研修となったと考えられる。

尺度15 社会文化的オープン性（Sociocultural Openness）：文化、経済、教育、環境、ジェンダー、国際関係、政治に関する様々な行動、政策また実行について進歩的、オープンである

尺度16 生態との共鳴（Ecological Resonance）：環境・サステナビリティ問題に深く傾倒している；地球、自然界の運命を懸念している

尺度17 世界との共鳴（Global Resonance）：様々な個人、集団、言語、文化について学習することまた出会うことに傾倒している；世界への関与を模索している

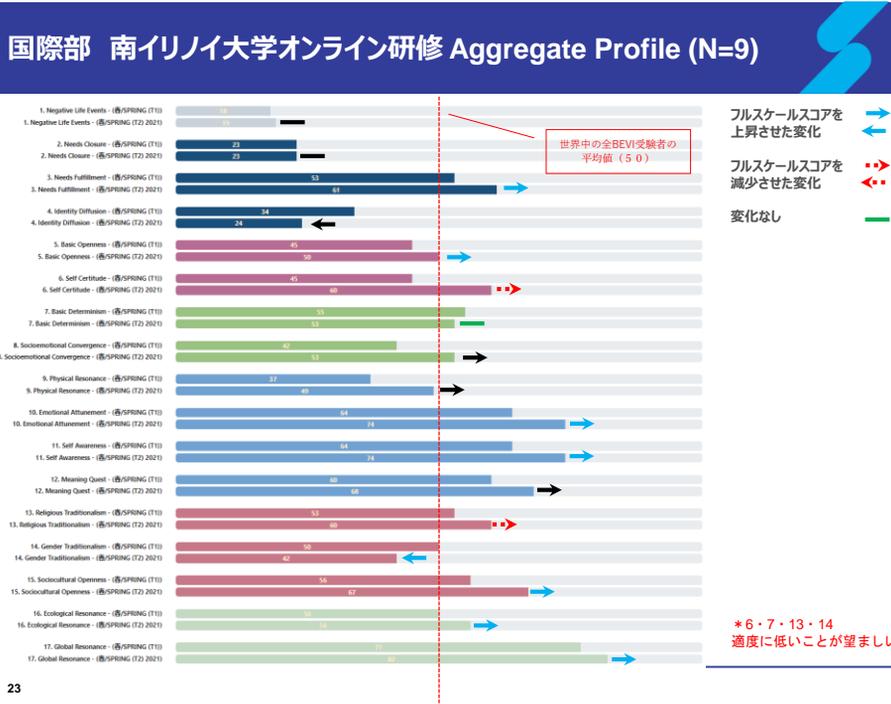
【国際部 南イリノイ大学研修】 のBEVI-jによる分析

期間： 2022年2月7日～3月4日

参加者： 9名

研修目的：
語学研修、異文化交流

研修内容：
語学研修、地域の方々とその地の社会、経済、環境問題についてのディスカッション等。



23

考察（南イリノイ大学研修）

- 元々高いコンピテンシーの学生が集まっており、研修後も全体的にフルスケールスコアを上昇させる変化が多く見られ、効果のあった研修であったと推測する。
- 国際的視野や国際性を身につけるという点に関連する尺度（尺度15・16・17）は全体的にスコアが高くなっている。前回の研修の際と同様に、尺度17については元々高い学生が集まっている事がわかる。前回参加の学生層と比べ尺度15が研修前で比較的低かったが、研修を通してフルスケールスコア別で見た時のMiddle/High Optimal Profileの学生に関しては大きくスコアが上がっているため、この層の学生にとって特にこの尺度については効果があったと推測できる。
- フルスケールスコア別で見た時のLowest Optimal Profileの学生については、表立って見える国際性に関する尺度では思ったような効果はみられなかったが、より深いレベルの部分でフルスケールスコアを上昇させるような変化が見受けられたので、この層の学生についても効果のあった研修といえる。

尺度15 社会文化的オープン性 (Sociocultural Openness) : 文化、経済、教育、環境、ジェンダー、国際関係、政治に関する様々な行動、政策また実行について進歩的、オープンである

尺度16 生態との共鳴 (Ecological Resonance) : 環境・サステナビリティ問題に深く傾倒している; 地球、自然界の運命を懸念している

尺度17 世界との共鳴 (Global Resonance) : 様々な個人、集団、言語、文化について学習することまた出会うことに傾倒している; 世界への関与を模索している



SOKA University